

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.2	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.40	4.0	0.40			
1 室内騒音レベル	35~40dB(A)	3.0	1.00	4.0	1.00			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	2.7	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.3	0.25	3.6	1.00			3.4
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	昼光率は食堂・機能訓練室部分2.87%、住居部分1.40%	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	庇、カーテンの二種類を設置	3.0	1.00	4.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気環境		3.4	0.25	3.0	1.00			3.2
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.9
1 機能性		2.4	0.40	4.0	1.00			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	介護付有料老人ホーム基準より個室13.00㎡以上	-	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40			
1 広さ感・景観	天井高 H=2.5m	-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.6	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備	洗浄水量4.8Lの便器を採用	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	非常用電源を備えている。また電源設備の地下設置を避けている	4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	浸水の危険性がない	3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.6	0.29	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	壁長さ比率による(全体:0.35、住居:0.16)	1.8	0.31	2.2	0.50	
	2	空間の形状・自由さ		1.0	0.60	1.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.40	4.0	0.40	
3.3 設備の更新性				3.0	0.31	3.0	0.50	
1	空調配管の更新性			3.0	0.38	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-		
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制				PAL低減率=30%	4.0	0.30	-	4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				ERR値 = 41.3%	5.0	0.30	-	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)				ERR=41.3%	5.0	-	-	
集合住宅の評価					3.0	-	-	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	3.0
4.1	モニタリング				3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制				3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.4	0.15	-	3.4
1.1	節水			節水型便器の採用	4.0	0.40	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.7	0.63	-	2.7
2.1	材料使用量の削減				2.0	0.07	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			LGS下地を使用	4.0	0.24	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.22	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	
3.2	フロン・ハロンの回避				4.0	0.68	-	
1	消火剤				-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			ODP=0かつGWPが低い建材を採用	5.0	0.50	-	
3	冷媒				3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮				LCCO2排出率は64%	4.4	0.33	-	4.4
2 地域環境への配慮					2.8	0.33	-	2.8
2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2	温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制				2.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音				3.0	1.00	-	
2	振動				-	-	-	
3	悪臭				-	-	-	
3.2	風害・砂塵・日照障害の抑制				3.0	0.40	-	
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制				1.0	-	-	
3	日照障害の抑制				3.0	0.30	-	
3.3	光害の抑制				3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	